

科目名		関係法規			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年	前期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

わが国の法規の体系や社会保障に対する考え方に触れながら、医療従事者の働く背景にある法規（衛生法規、医事法規、医療関連職の資格と業務内容を定めた法律）およびその他の関連法規（社会福祉法規、社会保険法規、労働法規）を学ぶ。また、補装具の支給制度について理解の上で、義肢装具の価格の構成や算定方法について学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

日本国憲法から関係する法律を一通り網羅する。また義肢装具費価格算定について理解する。

〔講師の実務経験〕

川村義肢株式会社（大阪府）にて義肢装具の採型適合業務に従事。有限会社永野義肢（大阪府）にて義肢装具の採型適合業務に従事する。

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

法律上定められた義肢装具士およびその他の医療関連職種の仕事内容についての説明ができる。  
わが国の社会保障の考え方とその他の義肢装具の位置づけについて論ずることができる。  
適切な義肢装具の見積りの算定が行え、かつ、義肢装具を必要とする人にその状況に応じて利用できる社会資源についての説明が行える。

回数	講義内容
1	わが国の法規の体系、医療関係者の資格と業務内容を定めた法律
2	義肢装具士法制定の背景、義肢装具士法、義肢装具士業務指針
3	社会保障関係法規（健康保険法、介護保険法ほか）
4	治療用装具の価格の算定方法 ①下肢装具、足底版、靴型装具を例に
5	社会福祉関係法規（障害者総合支援法）
6	補装具の価格の算定方法 ②下腿義足を例に
7	義肢装具支給制度と優先順位、補装具と日常生活用具
8	その他の関係法規（労働法規、PL法など）

【 準備学習・時間外学習 】

予習復習をすること

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布資料による		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

課題評価（終講試験+小テスト）により判定する